

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年5月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年5月1日～5月31日）

○調査期間：令和3年5月27日～令和3年6月18日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業21企業、製造業24企業、卸売業10企業、小売業24企業

飲食業16企業、サービス業44企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計139企業>

○調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

### 1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲5.7）よりマイナス幅が4.4ポイント拡大し、▲10.1となった。業種別では、サービス業はプラス幅が縮小し、卸売業はプラスから0となり、小売業は0からマイナスとなった。製造業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、建設業はマイナス幅が拡大した。

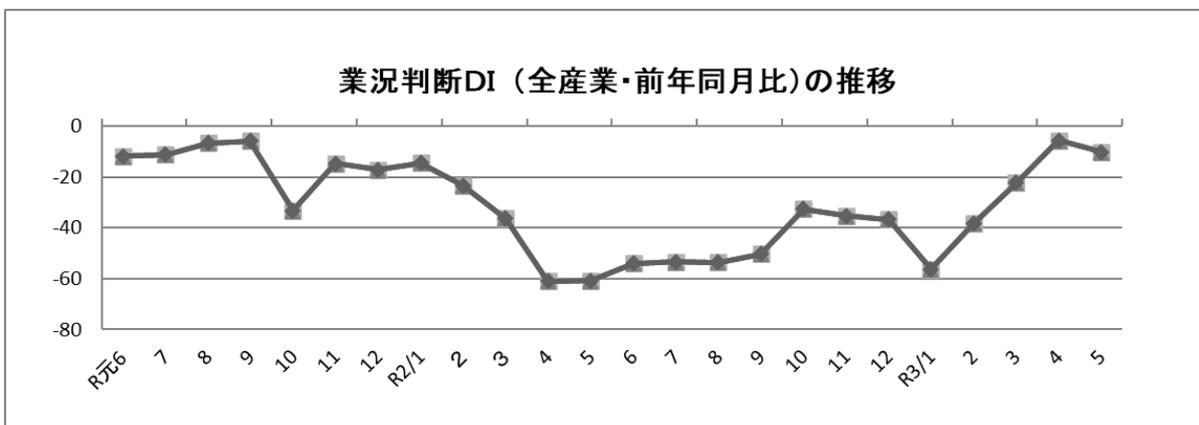
○全産業合計の水準DIは、前月（▲32.1）よりマイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲39.5となった。業種別では、全業種でマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	25.2 (24.3)	39.5 (45.7)	35.3 (30.0)	▲10.1 (▲5.7)	9.4 (13.6)	41.7 (40.7)	48.9 (45.7)	▲39.5 (▲32.1)
建設業	0.0 (0.0)	52.4 (70.0)	47.6 (30.0)	▲47.6 (▲30.0)	0.0 (0.0)	66.7 (75.0)	33.3 (25.0)	▲33.3 (▲25.0)
製造業	41.7 (21.7)	29.1 (43.5)	29.2 (34.8)	12.5 (▲13.1)	20.8 (26.1)	29.2 (26.1)	50.0 (47.8)	▲29.2 (▲21.7)
卸売業	30.0 (41.7)	40.0 (41.6)	30.0 (16.7)	0.0 (25.0)	10.0 (33.3)	60.0 (25.0)	30.0 (41.7)	▲20.0 (▲8.4)
小売業	29.2 (32.1)	29.1 (35.8)	41.7 (32.1)	▲12.5 (0.0)	16.7 (17.9)	33.3 (35.7)	50.0 (46.4)	▲33.3 (▲28.5)
飲食業	25.0 (31.3)	18.7 (12.4)	56.3 (56.3)	▲31.3 (▲25.0)	6.3 (6.3)	6.2 (12.4)	87.5 (81.3)	▲81.2 (▲75.0)
サービス業	25.0 (24.4)	52.3 (56.1)	22.7 (19.5)	2.3 (4.9)	4.5 (7.3)	50.0 (51.2)	45.5 (41.5)	▲41.0 (▲34.2)

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

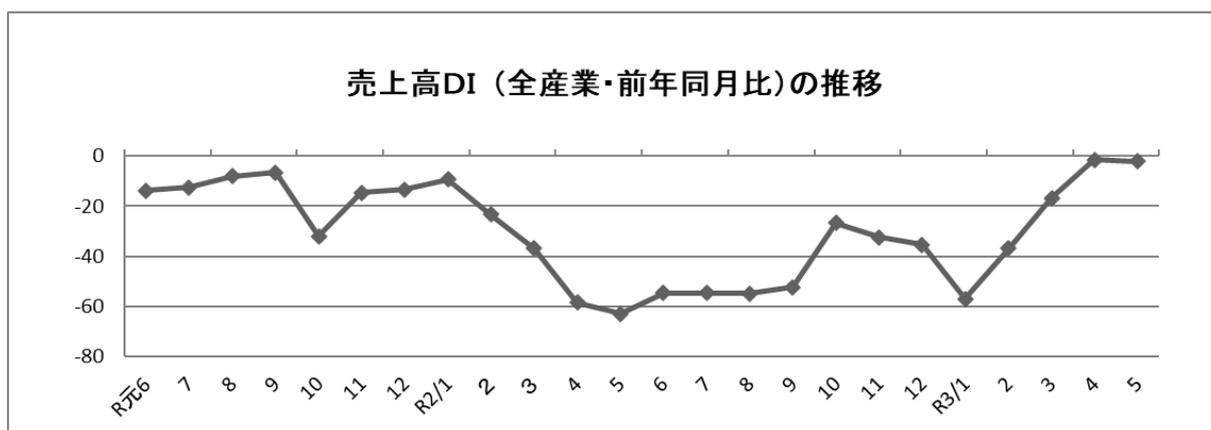


## 2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲1.4）よりマイナス幅が0.8ポイント拡大して、▲2.2となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が拡大し、卸売業はプラス幅が縮小した。製造業はマイナスからプラスに転じ、小売業はプラスからマイナスに転じた。飲食業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 63.0	▲ 54.8	▲ 54.8	▲ 54.9	▲ 52.4	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 35.4	▲ 57.0	▲ 37.0	▲ 16.8	▲ 1.4	▲ 2.2
建設業	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4
製造業	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7
卸売業	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0
小売業	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6	▲ 8.3
飲食業	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3
サービス業	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7	13.6

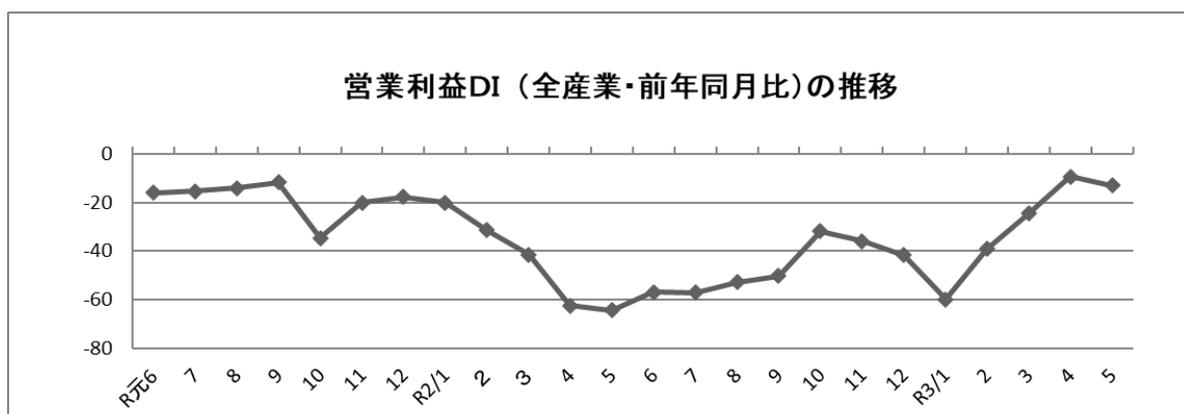


## 3. 営業利益D I（前年同月比）

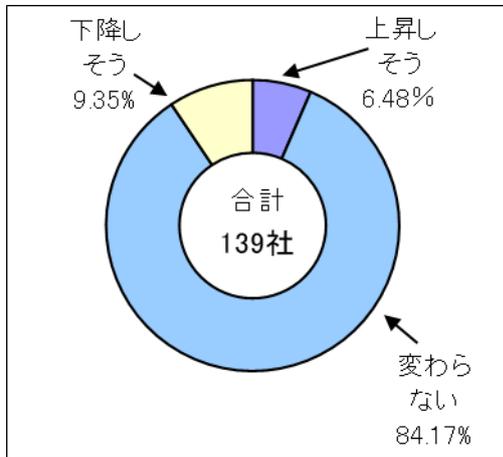
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲9.3）よりマイナス幅が3.7ポイント拡大して、▲13.0となった。業種別に見ると、製造業はマイナスからプラスに転じ、卸売業はプラスから0になった。サービス業はプラスからマイナスに転じ、小売業は0からマイナスになった。建設業ではマイナス幅が縮小し、飲食業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 64.5	▲ 57.0	▲ 57.1	▲ 52.8	▲ 50.3	▲ 31.9	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 39.2	▲ 24.5	▲ 9.3	▲ 13.0
建設業	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3
製造業	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2
卸売業	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0
小売業	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	▲ 12.5
飲食業	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7
サービス業	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

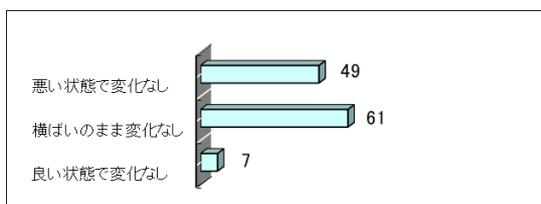


○令和3年6月～令和3年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.77ポイント増加し6.48%、「下降しそう」が7.08ポイント減少し9.35%となった。業種別の見通しDIは建設業(14.2)、製造業(0.0)、卸売業(▲10.0)、小売業(▲20.8)、飲食業(0.0)、サービス業(▲2.3)であった。

➡「上昇しそう」では「今月が悪かったので期待を寄せているため」「上向きになってほしい願望があるため」「大型物件の完成が見込まれているため」「新年度の公共工事が発注されるため」(建設業)「昨年の春頃は新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた時期で酷かったため」(製造業)「ワクチンの広がりを受け、夏以降の予約状況は良くなっているため」「職業訓練受講者数が僅かながら増加しているため」「受注見込みが増加する可能性があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

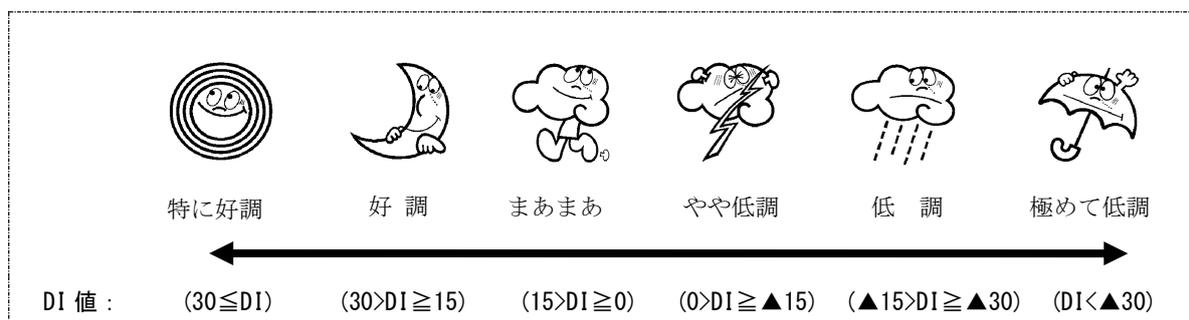
➡「変わらない」では「ワクチン接種が進み仕事が動き出すが、デフレ競争が続いているため」「受注の増加が見込めるため」(製造業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「今なお新型コロナウイルス感染症の影響があるため」(製造業)「自家栽培の作物が取れる時期であり、加えて暑さにより料理の意欲を削がれるため」(卸売業)「街中を歩く人がかなり減っているため売上もかなり減りそうだと考えているため」「新型コロナウイルス感染症による感染者数の減少が望めないため」「5月は特別に売れるものがあるが、6月はないため」(小売業)「ワクチン接種が進まず、いつになったら首都圏のお客様がくるのかわからないため」「新型コロナウイルス感染症変異株の影響が出てくると予想しているため」「新型コロナウイルス感染症第4波の到来が予想されるため」「新型コロナウイルス感染症が収束しないと変わらないと考えているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

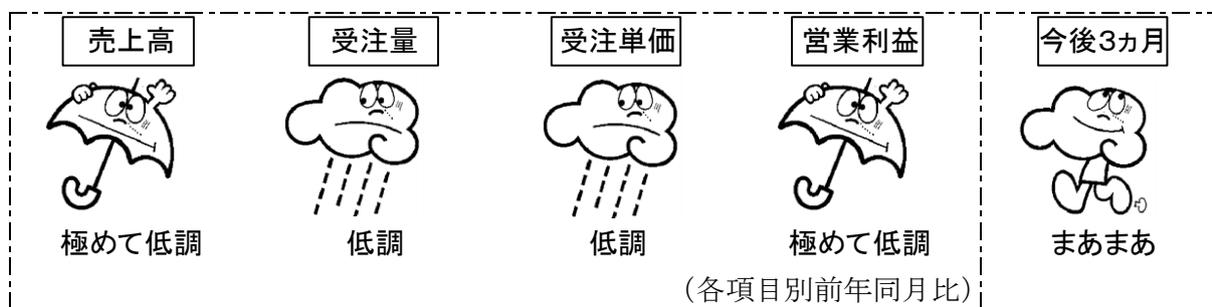


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲18.2	▲29.2	▲31.8	▲35.0	▲39.1	▲15.8	▲22.8	▲13.6	▲47.4	▲20.0	▲30.0	▲30.0	▲33.4
受注量	▲36.4	▲29.2	▲27.3	▲25.0	▲34.8	▲21.0	▲18.2	▲27.3	▲31.5	▲25.0	▲30.0	▲45.0	▲28.5
受注単価	▲18.2	▲20.8	▲18.2	▲25.0	▲21.7	▲10.5	▲13.7	▲4.5	▲15.8	▲15.0	▲20.0	▲20.0	▲19.0
営業利益	▲31.8	▲37.5	▲36.4	▲40.0	▲30.4	▲31.6	▲36.4	▲31.8	▲47.4	▲30.0	▲35.0	▲40.0	▲33.3
見 通 し	▲13.7	▲4.2	▲4.6	0.0	▲8.7	▲10.6	▲13.7	▲4.6	10.5	0.0	▲20.0	▲5.0	14.2

## <経営者の目・見方・e t c >

鉄工

- ・なかなか表面には出てこないが、製造業は景気が回復している企業が多いように感じる。当社もそれに遅れを取らないように考えている。
- ・鋼材全般が値上げしてきている。加工費の下落が心配である。

土木工事

- ・一部の発注物件は例年より少ない。発注部局に早期発注を強く要望したい。
- ・銀行法が改正され、銀行が中小企業の株を100%取得できるようになった。

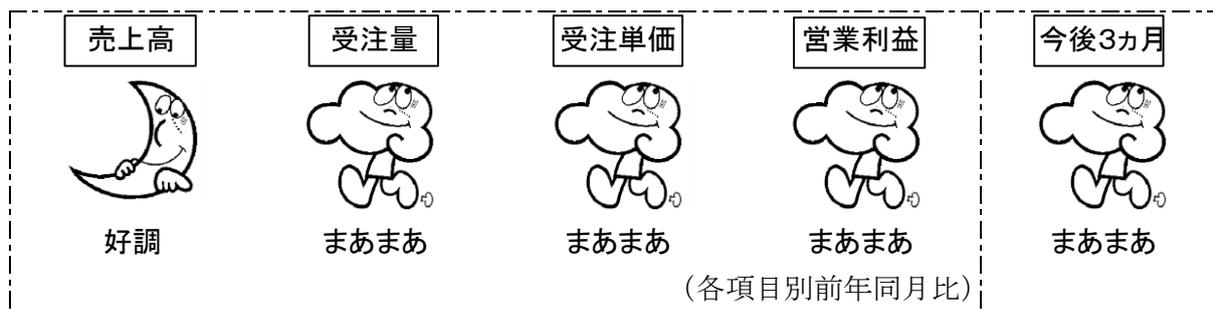
建築工事

- ・木材が不足している。

電気工事

- ・本年度は今のところ官庁関係の案件が少ないように感じられる。今後において案件が出ることを期待している。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7
受注量	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9	▲ 31.8	▲ 13.7	▲ 8.7	8.3
受注単価	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0	0.0
営業利益	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2
見通し	▲ 30.0	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8	18.2	4.5	0.0	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

清酒製造業  
漬物・味噌  
紙器

- ・緊急事態宣言が解除にならないと何とも言えないのが現状である。
- ・コロナ禍以前のように観光客が戻らない。
- ・まだまだ先行き不透明だが、ワクチン接種が順調に進んで早くコロナ禍から抜け出したい。

精密機械

- ・景況感は上向きだが、半導体が不足してきており下方修正が続いている。直ぐに解決するとは思えないのでしばらくもどかしい状況が続くそうである。

精密機械組立

- ・市場の需要はあるが、電子部品の供給が追いつかず受注が停滞している。

小型情報機器組立

- ・半導体の部品が手に入らず、動き出したとしても材料が手に入らない。この繰り返しばかりでいつになったら良くなってくれるのか。

ケーブル加工

- ・部品の仕入に、大きな問題が出ていて解決の糸口が見えない。電気部品が市場からなくなりかけている。Web上の高価な物さえなくなっており、一般ルートでの入手は半年先と予想されている。

縫製加工

- ・組合活動がままならないほど入会者が増えてきている。

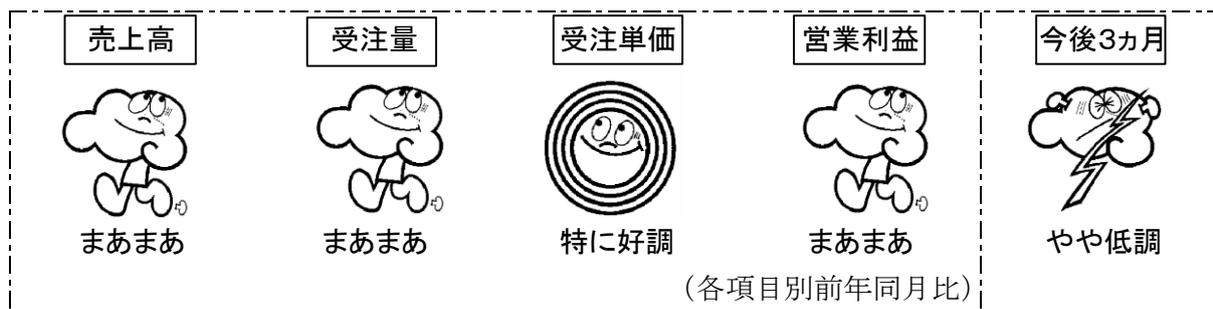
金属塗装

- ・昨年の5月が悪すぎた。今年状況はそれに比べると良くなっているが、コロナ禍以前と比べるとあまり良くない。今の状況がいつまで続くか心配である。

印刷

- ・相変わらず印刷物の地域内経済循環が進まない。定例の仕事を受注する産業で高度経済成長期やバブル期以来、機械設備投資による生産性向上ばかりでDXへの停滞がこうした事態を引き起こしている。事業承継含めて、地域の印刷産業全体の停滞感は否めないが印刷関連産業の地域内経済循環を地域産業全体に求め働きかけていく必要がある。

### 3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0
販売客数	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 33.3	7.7	0.0	0.0
販売客単価	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 41.7	15.4	8.4	30.0
営業利益	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0
見通し	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4	25.0	7.7	▲ 16.7	▲ 10.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

- 青果
  - ・収穫時期に凍霜害発生による被害が各産地から報告されており非常に心配である。全体的に単価は昨年並に推移しているが経営的には厳しい。
- 青果卸小売業
  - ・車も人も動かない。新型コロナウイルス感染者数が増えるとさらに動かなくなるだろう。今後の動向が心配である。
- 魚介類
  - ・新型コロナウイルス感染症からの回復が未だみられない。ワクチン接種の迅速化を望んでいる。
- 土産品
  - ・前年の売上と比較すると40%ダウンと大変厳しい状況である。GWも数日のみ好調であったがGW明け以降は観光客が少ない状況であった。早急なワクチン接種に期待したい。
- 機械工具
  - ・昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた5月で売上が大きく下がった。今年はそれに比べると良いのだがまだエネルギーを感じる事ができない。
- 金属製品
  - ・各メーカーが更なる値上げを発表する中、販売先へ値上げ分の価格転嫁の交渉に各流通及びエンドユーザーが動いている状況である。板中心に品薄の状態はまだまだ続いている。
- 鋼材
  - ・鋼材の高騰及び品不足が心配である。

## 4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6	▲ 8.3
販売客数	▲ 68.0	▲ 44.0	▲ 54.1	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7	▲ 53.9	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 4.1
販売客単価	▲ 28.0	▲ 12.0	▲ 37.5	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 14.8	▲ 10.7	▲ 8.4
営業利益	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	▲ 12.5
見通し	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5	▲ 3.8	0.0	7.4	▲ 14.3	▲ 20.8

### <経営者の目・見方・etc>

陶磁器

- ・感染状況の変化に一喜一憂する毎日である。混乱の中でもワクチン接種が進んでくると、街や人の雰囲気は急速に改善してきた気もする。こんな時期だからと取引先の飲食店に予約を入れるも断られ改めて予約して利用してみると満席だった。年末にも感じたが、人気店に需要が集中しているようである。どの業界の中でも明暗が分かれている。

印章

- ・修学旅行生は多少見かけるが、一般の観光旅行客はほとんど見られない。地元のお客様ががついているお店にはそれなりにお客様が入っているように見受けられる。

印章・刃物研ぎ

- ・2年続けて、クラフトフェアまつもとが中止になってしまったのは大きな痛手であった。

住宅機器

- ・ウッドショックの影響がいよいよ出てきた。正確な情報を入手していきたい。

洋菓子店

- ・少しずつ人の流れが増えているように感じる。コロナ禍で新しい取り組みが増えてきている。どういう結果になるかまだ分からないが仕事の依頼が多くなっている。

和菓子

- ・ワクチンを多くの人達が接種すれば少しは今後の売上に期待できるのではないかと業者の方々が話をしている。

おやき

- ・宿泊業からの注文はほとんどなくなっているのので、店売に力を入れてきた結果がようやく出てきたようで地方への発送も増加してきた。今後も工夫を重ねていきたい。

生鮮食品

- ・連休は県外のお客が多いと感じた。連休が終わりすぐ母の日となり忙しかった。4月終わりから5月連休は祭りと重なり人出も多いが、神事以外の祭りが行われず寂しいことである。

味噌・しょうゆ

- ・昨年に比べればある程度は回復してきたが、新型コロナウイルス感染症第4波の影響を受けている。

薬局

- ・イベントが行われず伊勢町通りは歩く人がとても少ない。6月にお店同士でマルシェをする予定である。

## 5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲88.2	▲58.8	▲68.7	▲87.5	▲94.4	▲81.2	▲57.9	▲18.7	▲31.3
販売客数	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲94.1	▲70.6	▲68.7	▲93.8	▲94.4	▲81.2	▲52.6	▲18.7	▲37.5
販売客単価	▲81.3	▲66.7	▲61.5	▲64.7	▲47.0	▲52.9	▲56.3	▲75.0	▲66.7	▲81.2	▲31.6	▲37.5	▲56.2
営業利益	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1	▲94.1	▲70.6	▲81.3	▲87.5	▲94.4	▲81.2	▲52.6	▲25.0	▲43.7
見通し	▲18.7	▲26.6	▲23.1	▲41.2	▲23.5	▲23.5	▲37.5	▲37.5	▲22.2	▲18.8	▲15.8	▲6.3	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

郷土料理

・月初めのGWだが、観光客や帰省客がほとんどなく休業した去年よりはましという程度の売上である。高齢者から新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まり、その年齢層は外出し始めているような感じもあるが、まだまだ人出は少ない。

食堂

・昨年に続き今年のGWは新型コロナウイルス感染症変異株が広がって客足は少なかった。いつになったら落ち着くのだろうか。  
・昨年の連休中は休業したが、今年は平常通り営業ができたので売上が戻ってきた。しかし週末は減少傾向である。ワクチン接種が早く進んで欲しいと願っている。

そば

・GWは去年に比べ人の流れはあったのだが店内飲食を避ける方が見受けられた。ワクチン接種も始まっているが一般の人の接種にはまだ時間を要するようで今後も厳しい状況には変わらない。

寿司

・少しずつ始まったワクチン接種の効果に期待しているが、全国民に行き渡るにはまだ時間がかかりそうだと考えている。そのため景気が上昇する先行きは見えず非常に困っている状況である。  
・新型コロナウイルス感染症の影響が非常に厳しい中、それでもGW中は車が渋滞するほど人出が多かった。それなりに来客数もあったが月の後半が心配である。これだけ人出が増加すれば当然新型コロナウイルス感染症の拡大が予想される。ワクチン接種が迅速に進むことを祈る。

料理

・山菜料理の材料はたくさん用意できているがお客様は来なかった。このようなことは県外からのお客様が少なかったことが原因ではないかと考えている。

創作料理

- ・新型コロナウイルス感染症変異株の増加で予約の電話は一切なかった。ワクチン接種がある程度終わるまで、この状況は続くと予想される。ストックの食材の処分についても考えなければならない時期に来ているが、できるだけ調理し今後を期待して無料でも提供することを考えている。もう神頼みするしかない。

居酒屋

- ・悪すぎて経営する意欲が低下してしまっている。町内の経営者の方々は精神的ストレスを抱えている。

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7	13.6
販売客数	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9	▲ 56.1	▲ 43.2	▲ 11.9	9.8	2.3
販売客単価	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0	▲ 24.4	▲ 27.2	▲ 2.4	7.3	▲ 9.1
営業利益	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5
見通し	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3	▲ 12.2	4.5	▲ 2.3	▲ 17.1	▲ 2.3

### <経営者の目・見方・etc>

温泉旅館

- ・売上高は去年に比べれば良いのだが、まだ2019年以前の水準には戻っていない。大都市の緊急事態宣言に長野県内の警戒レベルも上がり、全国的に自粛ムードが根強く、旅行の雰囲気ではないので、6月も見通しはかなり悪いと感じている。国民のワクチン接種が待ち遠しい。

観光旅館

- ・新型コロナウイルス感染症第4波の緊急事態宣言は致し方ない決断であった。GWの予約取消は過去最多であり、ビジネス、観光、スポーツのいずれの目的でも予約の取り消しが90%になった。

旅館

- ・昨年5月は県からの要請や、地震の影響で営業できなかった。今年こそと従業員も雇い万全の体制で営業を始めたが連休に悪天候、中旬からの梅雨のような天気に加えて各地の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の増加によりお客様の数は平年の半分以下になってしまった。6月まで緊急事態宣言が伸びてしまいワクチン接種も思うように進まず、中先行きが不安である。

ホテル

- ・連休明けで感染者数が急増したが、このところやや落ち着いてきたので早くワクチンが行き渡れば良いと考えている。

宿泊

- ・例年行われているクラフトフェアまつもとがなく静かな5月末となってしまった。
- ・コロナ禍の中新しいホテルの建設が2件あると聞いたが、どうなるのだろうか。

不動産賃貸

- ・他県の緊急事態宣言延長を受けGWを含め活気のない状態が続いている。
- ・変動がない。

ペットサービス	・GWのホテルの利用が前年に続き新型コロナウイルス感染症前の8割減となった。美容はコロナ禍による飼育頭数増加により新規顧客が増えている。
獣医	・犬猫業者の規制の環境省令が6月から施行された。動物虐待に対する罰則を強化した2019年成立の改正動物愛護法に基づく措置で24年に向けて段階的に強化してゆく。
写真	・新型コロナウイルス感染症が収束したわけでもなく、ワクチンもまだまだ高齢者の接種にいたっていない状況で先は読めない。昨年に比べれば確かに売上も人の動きも上昇してきているが見通しが見えない状況である。
測量・建設コンサルタント業	・官庁からの仕事が出ているが受注できない。民間企業からも仕事が出てこない。
機械設計	・製造業は忙しいところと仕事の少ないところの差が大きく出ている。新規テーマはできている。
自動車整備・板金塗装	・松本地域も各地に新型コロナウイルス感染症感染者が出ている。身近に迫っている感があり非常に心配である。自社で1人でも感染者が出たら会社自体に危機感を抱かせることになってしまう。先行きも不透明で不安である。
タクシー	・前年に比べれば、客数は増えて売上も少し上がってきたが上高地方面の観光客はまだ少ない。
倉庫	・自動車関係の工場で、半導体不足の影響による稼働率の低下がまた発生している。その影響で材料と製品の物流停滞が発生してきた。
システムサポート	・社内システム化の設備投資意欲は徐々に増えてはいるが、まだまだ弱い状態である。